

モデルカリキュラム	授業に含まれている 内容・要素	工学部		看護学部	
		1年	2年	1年	2年
文部科学省 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）で 設定される学修項目		コンピュータサイエンス 入門		情報科学Ⅱ	保健医療 統計学
導入 社会におけるデータ・AIの 利活用	現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	○		○	
	「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	○		○	
	様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスクア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	○		○	○
基礎 データリテラシー	実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	○			○
心得 データ・AI利活用における 留意事項	活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	○		○	
選択 大学の特徴に応じた学修	統計及び数理基礎				○
	アルゴリズム基礎				
	データ構造とプログラミング基礎				
	時系列データ解析				
	テキスト解析				
	画像解析				
	データハンドリング				
	データ活用実践（教師あり学習）				
その他					

モデルカリキュラム	授業に含まれている 内容・要素	工学部			看護学部			
		1年	2年		1年			2年
		人工知能Ⅰ	データサイエンス 基礎	アルゴリズムと データ構造	情報科学Ⅰ	情報科学Ⅱ	看護人間工学	保健医療 統計学
導入	現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	○	○		○			
	「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	○	○		○			
	様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスクア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	○	○		○	○		○
心得	活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	○	○		○	○		
基礎	実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの		○			○		○
選択	統計及び数理基礎		○					○
	アルゴリズム基礎			○				
	データ構造とプログラミング基礎			○				
	時系列データ解析							
	テキスト解析							
	画像解析							
	データハンドリング							
	データ活用実践（教師あり学習）	○						
その他						○		